

## 第 268 回(4 月)

### 情報事業の次世代戦略—印刷会社のケース— (討議と実査見学)

DNP マルチメディア・パークにおいて実施

大日本印刷株式会社 ACS 事業部事業推進本部副本部長 久保田靖夫氏

21 世紀へ向けた情報コミュニケーション産業へ進むという社方針にのっとり、印刷とデジタル動画の接点でのマルチメディア戦略を採用し、その中で 3 つの情報発信事業①DNP の広報サーバー②Media Galaxy サーバー③DNP Billboard Web サーバーおよび、クライアントのインターネットビジネスサポート、インターネット 1996 ワールドエキスポの全面支援を行うこととした。

印刷会社が CD-ROM アプリケーション開発に関わり始めたのは、出版会社が保有する出版素材データを他のメディアに展開していく活動を契機としており、その後さまざまな形で活動の領域を拡大している。

デジタル動画の今後の大きな応用分野としては、VOD(Video On Demand)が注目されている。今後の問題としては、①制度的、料金的な問題の解決②情報提供者側の事業化課題の解決③知的所有権の問題④情報加工をする側からは、適用メディアを選ばないデータベースシステムの問題などがある。いわば統合型マルチメディアデータベースの開発が必要になる。(会場において実際にシステムを立ち上げて研究を進めた)